

No.170	カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発/CO2有効利用拠点における技術開発	
機関名	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	
募集締切 (公募機関)	2025年2月25日(火)	正午アップロード完了
学内締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2025年2月12日(水)
	原議書提出締切日	2025年2月18日(火)
応募方法	WEB入力フォームによる提出及びe-Radによる提出 ※本公募は事務局において事前了解の手続きを行いますが、Web入力フォームへの提出及びe-Radへの応募情報の入力には各申請者が行ってください。	
所属研究機関の 承認(e-Rad)	不要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	必要	
概 要	<p>カーボンリサイクル実証研究拠点における以下の2つの事業の実施者をそれぞれ募集します。</p> <p>1.CO2有効利用拠点化推進事業 (1-1) 実証研究拠点の運営・研究支援(委託事業、1件程度) カーボンリサイクル実証研究拠点の運営管理・研究支援(共用設備の工事・保守・改造修理、安全・衛生管理、マニュアル類整備、対外窓口業務、広報等)を行います。 ※2024年12月6日付の「カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発/CO2有効利用拠点における技術開発」に係る公募について(予告)に掲載していた(1-2) 実証研究拠点の付加価値及び発信力最大化(委託事業、1件程度)については、後日別途公募を行います。</p> <p>2.研究拠点におけるCO2有効利用技術開発・実証事業 (2-1) 研究拠点におけるCO2有効利用技術開発(委託事業、4~5件程度) カーボンリサイクル実証研究拠点の基礎研究エリア※1において、2030年頃からの実用化に向け、CO2有効利用に係る要素技術開発(技術コンセプトの実験的証明、研究室レベルでのプロトタイプの実証等)を実施します。 ※1カーボンリサイクル実証研究拠点では、「基礎研究エリア」、「実証研究エリア」、「藻類研究エリア」の3区域を整備しています。「基礎研究エリア」での研究開発は、基礎研究棟内の10m×7m程度(1件あたり)の研究室で実施します。</p> <p>(2-2) 研究拠点におけるCO2有効利用技術実証(助成事業(助成率2/3)、3~4件程度) カーボンリサイクル実証研究拠点の実証研究エリア※2若しくは基礎研究エリア又はその両方において、2030年頃からの実用化に向け、CO2有効利用に係る実証研究(想定使用環境下でのプロトタイプ実証やその設計に必要な技術的検証等)を実施します。 ※2「実証研究エリア」での研究開発は、19m×50m、20m×26m及び19m×24m程度の屋外のスペースを採択者で分割使用して実施します。</p>	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。